

126 D 4

特 許 公 報

特許出願公告

昭34-1887

公告 昭 34.4.8 出願 昭 29.3.18 特願 昭 29-5339

(特許第230417号の追加) 優先権主張 1953.3.23 (アメリカ国)

出願人 発明者	エイブラハム、ナセニ エル、スベインル	アメリカ合衆国ニュー、ジャージー州 マーサー郡プリストン市ストツクトン 通
復代理人弁理士	坂 本 吉 勝 外1名	(全5頁)

剪 髪 器

図 面 の 略 解

図面中第1図は本発明剪髪器の平面図、第2図は第1図の2-2線を通ずる拡大した横断面図、第3図は第1図の3-3線上の拡大した縦断面図、第4図は金属薄板製保護具の平面図、第5図はその端面図、第6図は針金製突施型の平面図、第7図はその端面図、第8図は金属薄板製突施型の平面図、第9図はその端面図、第10図は一部横断面図で前進位置における保護具を示すもの、第11図は一部の横断面図で金属製櫛形歯に対する保護された端部を示すものである。

発明の詳細なる説明

本発明は剪髪器に関し又特に刃片の位置を毛髪に対して調節し得るような櫛形体を有する剪髪器に関するものである。

1個の籠体内に囲まれた刃縁は皮膚との不慮の接触からつねに避けることができるということが発見された。籠体を開いて刃片を櫛歯の端部以上に前進させることが希望されるならばそのときは籠体の開放側は剪髪器の不注意な使用者に対し危険を現わす。

従て本発明の一目的は刃縁をして歯の刃片限度に或はそれを越えて前進せしめるような開放された櫛歯を有する剪髪器を提供することであり又同時に可動的な刃片のあらゆる位置で不注意な使用者を保護する保護具を有する刃縁を提供することである。更にその上の目的は剪髪器を通る毛髪の運動を妨げないようなそんな保護具であり又それは安価な材料で容易に作られ且つ在来の剪髪器に迅速に取付けられるものであるような保護具を提供することである。

なお他の目的は塑造可能の材料から造られ且つ毛髪の通過に都合のよい塑造された通路を有する

剪髪器を提供し、刃片の移動に便利のように一部を露出させた外輪を有する輪状の駆動装置を提供し且つ安全位置において短く毛を剃ることができるような櫛と保護用歯との間の新規な間隔状態を提供するにある。

以上の目的及びその他の目的は達成され且つそれに依つて得られる本発明の新規の結果は次の明細説明殊に特許請求の範囲に指摘され且つ図面に示された装置に依つて明である。

図中符号10は本発明の剪髪器を表現しそれは櫛状体12、長い柄14及び刃片位置固定装置とから成りこの装置は刃片調節用ダイヤル即ち輪16、刃片支持板18、刃片締付具20、刃片22及び以下に説明する附属部分を包含するものである。

何れの縁でも使用する為めの両刃剪髪器即ち両刃刃片は開放型籠として図示されているが片刃の剪髪器も提供できることは理解される筈である。

図示された特殊構造では機具体はナイロンのような可塑物で作ることができそれは非常に強固で且つ種々の凹所を有する入込んだ櫛形に塑造することが可能であるが後に述べるように他の可塑物も使用し得る或は若し希望されれば金属製のものもできる。

刃片は凹状室24を有する櫛形体上に支持されることが望まれこの凹状室24は歯が正規の位置に置かれた刃片の側縁25との間に作る角度に依つてその位置を決定される。十分の長さの毛髪は各歯26の間の位置に櫛込まれ且つダイヤルに依つて選択された位置にある刃片の縁28に係合するまで凹状室内に櫛込まれる。刃片の位置決定は以下述べるような方法で刃片位置固定装置に依つて行われる。刃片支持板は刃片支持板の各端近くで櫛形体に形成された導溝30及び32で作動する。歯杆34が

刃片支持板の一端に沿うて設けられ且つ導溝22内で作動しこの齒杆34は軸36上に軸支れるがダイヤル16の周縁の小齒輪95に依つて操作される。ダイヤルの下側は37に示したように放射状に凹凸を設けこの凹凸は楔形体に支持された弾片38に係合して刃片の意に反する移動を防ぐ。把柄は39におけるように凹ませてこれにダイヤルを収容し且つ刃片支持板の齒杆に係合させる。蓋板40はピン41に依つて把柄に取付けられ組立を完成する。

斯くしてダイヤルは刃片の縁と齒の端との全切刈用縁端帯を通じての關係的横方向の移動を行わせる。即ち第2圖に示すように切刈用縁端部が齒の最外縁に殆んど密接する部分から切刈用縁端部が頭頂から及び齒の内面からその最大距離だけ離れた部分まで移動させることができる。

凹状縛着具20は弾性金属で作つた板21を包容しこの板21は錠止用溝42を有し溝42は刃片支持板18に取付けられる頭付柱48のそれに関連する頸部44に係合される。外面に露出する指掛片43は凹状縛着具20を貫通し且つ板21に固定し例えば板を頭付柱が錠止用溝内で自由になるまで凹状縛着具内で移動できるようにカシメ付けた柱49で固定する。斯くして縛着具は下部の刃片支持板上に置かれた刃片を取交えるために持ち上げることができる。

楔形体12は背柱即ち主幹50に依つて左右に揺がる齒を支持しこの主幹50は通路52を提供する溝の形で縛着具20の間を切取られ例えば頭頂に対して毛髪を扁平にするような主幹の傾向を避け且つ斯くしてこの器具の最も有効な操作を妨げないようにする。通路は亦切刈した毛髪の一部を籠から外へ通過させる。

凹状室を使用する毛髪切刈具の開放型における刃片はその全長を通じてその刃縁を露出する。刃片の端縁が切刈帯を通じて短く切刈する為めに齒の端部の方へ押出されたとき不慮の危害がやゝ少くされる。開放された区画内で刃片の露出縁から使用者を保護する為めに刃片と共に移動する保護具が設けられる。

第1, 2及び3圖には凹状縛着具20が示されこの縛着具20は刃片の端縁に沿うて突出部54を構成する溝53を具備しこの突出部54は指或は皮膚が刃片の端縁と不慮の接触をすることに対する障害物としての役をする。

第4及び5圖では押型で作つた金属薄板製の一

体に結合された縛着板及び保護具56を示し且つ若し希望されたら頭付縛着用性を受ける為めの錠止用溝60を有する弾性的縛着作用を与える関連した凹状部58を形成するものである。

二つの長手方向の縁は62におけるように切られ刃片両側の切刈用端縁を毛髪に係合させる際に皮膚との不慮の接触に対する障害物を構成する上向に折曲げられた金属薄板製の耳片64を作らせる。耳片65におけるようにそれ等の外端を彎曲させて保護具が切刈用位置にあるとき皮膚に対する支持用面を提供する。指掛片66は保護具を取扱い易くする。

第6及び7圖には本発明の縛着板58aの針金製突施型を示しこの縛着板58aは金属薄板で希望されれば関連した凹状部58a及び錠止用溝60aを設けられる。金属薄板製蓋板59aは針金製保護部材64aを包含しこの保護部材64aはその両端部で丸味を与えられ且つ上記刃片の端縁とでも保護具を形成して刃片上に延長する。

第8及び9圖には一体に結合された金属薄板製縛着板58bを示しこの縛着板58bでは延長する指片64bはその各側から延長して図示のように上方に捲き込まれ或は刃片の方に向つて下方に彎曲される。

次のことが発見される即ち刃片端縁との不慮の接触への障害は刃片端縁に保護具が近い程大きいということである。最大の防御の為めには保護具は第10圖に示され切断面図で明なように刃片端縁を超えて突出しなければならないことが発見された。

剃毛に対する安全な位置は刃片端縁68が第10圖に示されるように齒70及び保護具72に依つて決定された使用平面で皮膚を圧迫するときその前進位置において適当な間隔を置いて隔離された齒を有し且つ保護具を有する剪髪器で起る。

適当な間隔を置いて隔離された齒を有する櫛が毛髪の生えている皮膚に対して圧接されるとき皮膚は相隣接する齒に依つて皮膚表面をして齒の間に押上げしめるように圧接される。この現象を本発明では刃片端縁を剃毛状態に押上げられた皮膚に係合させるように利用した。これは従来閉鎖型の剪髪器に対して提供されたもので例えば櫛が刃片端縁を包圍するもののようなものである。上述のような剪髪器では櫛状の齒は互に間隔で且

つ0.015"乃至0.030"の厚さを持つている。

歯の間の間隔を増せば安全率を減じ且つ歯の厚さを増すことは刃片端縁を剃毛位置に達せしめるのに余計困難になる。間隔と歯厚との間の適正な割合が本発明で提出される。

斯くして本発明では歯の端縁を越えた危険な且つ露出位置への刃片端縁の前進の必要を避けた。

可動保護具を設けた見本では保護具の歯はこの新規で且つ安全な剃毛位置を保証するように同様な間隔を有することが望まれこの位置では刃片端縁は保護具の最外部表面と歯との間で第10図に示すように使用面に維持することができる。このような場合には皮膚は歯又は保護具或はその両方の下に圧せられ且つその結果として歯と歯の間で持ち上げられて刃片端縁の安全な剃毛位置に達するようにされる。

剪髪器を数回往復させることが剃除せんとする毛髪全部を剃取ることを保証するには剃毛面積では望ましいということは明である。

第11図では金属薄板製棒74の切断面を示しこの棒74は一体的に設けられた延長歯76を有しこの歯の端部の尖鋭度は78におけるように単にその尖端を丸く即ち球形にすることに依つて阻止されている。

刃片端縁を剃毛位置に迅速に移動させ得ることに保証する為めにこの剪髪器には阻止片を設けることができる。このような阻止片は剪髪器の導溝内に塑造することができる例えば第1図における阻止片88のようなものである。

上記したところで他の装置と共に毛髪を短く剃る為めに露出刃片を有する剪髪器を説明したがその剪髪器は常に刃片端縁との不慮の接触に対する障害物として作用する保護具を具備するものである。保護具はあらゆる位置を通じて毛髪をして刃片端縁に到達させるような歯を有するものである。保護具の歯の端は切取つた毛髪の堆積を避ける為め刃片端縁から離れて設けられる。剪髪器の歯の適正な間隔は刃片端縁をして毛髪を短く剃取る為めの安全位置に保護具と一緒に前進させることができる。剪髪器は常に刃片端縁の破損から保護されていて且つ刃片端縁はそれとの不慮の接触に対して保護されている。保護具は塑造され、押型でスタンプされ或は針金で作られ又それ等の結合からも作られる。

刃片の平面に並行して設けられた歯輪駆動を使用する本発明の新規な剪髪器は他の型のものより扁平で且つ使用容易である。同じ方の手の拇指及び人差指成はその何れか1本はその車輪を容易に操作する為め自然の位置にある。

以上のように本発明を説明したが図示し且つ説明した特別の形状及び使用方は単に説明の為めのものであり本発明はこれに捉われるものでなく又本発明はその精神を離れることなく他の方法で実施できるものであることを理解されんことを希望する。従て次項に掲ぐる特許請求の範囲内に於る全部の同様な手段を使用する権利を広く主張し且つそれに依つて本発明の目的は達成され且つ新規の結果が得られる。それは以上図示且つ説明された特殊実施型はそれ等の目的を達成し且つそれ等の結果を得られる他数の内の僅一部に過ぎないことが明瞭である。

発明相互の関係

特許第280417号は刃先のある切削刃を任意の切削場所に位置させるのに適した刃の位置固定装置と、この装置とは作動上互に連絡しており任意位置の刃の一端に向つて傾斜して其所に凹んだ隔壁を形成した内面とそしてどんな刃の切削位置でも實際上刈られるような適当位置で剪髪器を髪の上に保持するに都合のよい面を形成した外面とを具えており隙間のある離れた数多の又が突き出ている骨組から構成されていてその又の一番外の部分は籠の前面を形成しており該籠と刃の位置固定装置とはその位置の刃と籠との間で関係的な横の運動を都合よく出来るように調節し得るようになってゐる籠と、そして一方の位置では切削刃が又の一番外の部分に極めて接近して又他の位置では切削刃が又の二つの内面からは實際上或る距離だけ離れており又の一番外の部分からは横に離れていて前記刃の位置固定装置と籠とはそれ等の間の関係的な横の運動中その刃の切削刃先と籠の前面とを常に並行する位置に保持するように構成せられ配置されており選択された数多の横の切削位置のどの一つでも前記籠とその位置の刃とを保持する装置とから成る剪髪器の発明であるが、本発明に於ては、籠体に代えて梯形体を採用し且つ摺動自在の刃片支持板上の刃の上に梯形状の刃片締着具即ち保護具を添装させて刃と共に運動するようになし、之により扁平であり使用し易い

一層安全な剪髪器を構成させた点に於て、前記特許発明を改良したその追加発明である。

特許請求の範囲

切刈用刀片をそれから延長する選択された切刈帯にその一端縁を置くように適応された刀片位置固定装置、上記位置固定装置に連結された櫛状体、位置を決定された刀片の一端を越えて間隔を置いた多数の歯を突出させた枠を包含する上記櫛状体、位置を決定された刀片を歯との間の関係的横方向の運動を行わせるために関係的に調節可能である剪状体及び刀片位置固定装置、選択された横方向の位置の何れの一においても櫛状体及び位置を決定された刀片を保持するための装置並に上記刀片位置固定装置上に取付けられてその何れの横方向の位置においても刀片端縁との不慮の接触に対する障害物を形成する保護具から成る剪髪器。

附 記

- 1 保護具は毛髪に対して歯間に通路を形成するような歯を有する特許請求の範囲の剪髪器。
- 2 保護具は位置を決定された刀片から外方に延長する耳片を形成するように押型で作られた金属薄板製である特許請求の範囲の剪髪器。
- 3 保護具が拡張された針金から成る特許請求の範囲の剪髪器。
- 4 保護具は刀片端縁の部分で環を形成する突出する針金で作られる特許請求の範囲の剪髪器。
- 5 保護具がその端部で丸味を持たせられた延長する指片を有する特許請求の範囲の剪髪器。
- 6 保護具が刀片端縁の区域で環を形成する延長指片を有する金属薄板製である特許請求の範囲の剪髪器。
- 7 歯の最外端部分が拡大され且つ丸味を与えられている特許請求の範囲の剪髪器。
- 8 保護具は歯及び刀片端縁に依つて決定された使用の平面内に保護具があるような最外方位に刀片の端縁を越えて突出する特許請求の範囲

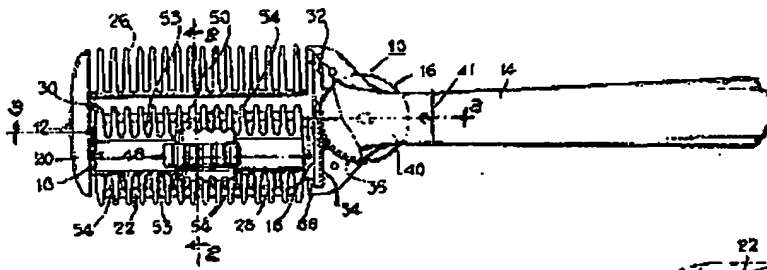
の剪髪器。

- 9 把柄を有する櫛状体、延長する歯、選択された切刈帯内で切刈用刀片の位置を決定するための刀片位置決定装置、位置を決定された刀片と並行する平面内で且つ櫛状体と把柄との間に位置を与えられ使用者の指と係合する為めの露出した縁部分を有し選択された位置に刀片を移動させるために刀片位置決定装置と係合する為めの駆動装置を有する円形輪を設けた剪髪器。
- 10 延長する歯を有する櫛状体、上記歯と或る角度を為して選択された切刈帯内で切刈用刀片の位置を決定するための刀片位置固定装置、皮膚を歯の間の空間に且つ切刈帯内に押出させるように間隔を置いて設けられた上記歯及び刷毛用として刀片を歯の端縁近くまで前進させる為めの装置を有する剪髪器。
- 11 上記刀片の為に設けられ又それと一緒に動くことができ且つ歯を有し上記歯は皮膚をして保護具の歯の間の空間に且つ切刈帯内に押込ませるように間隔を置いて設けられこの歯の最外端位置は刷毛の為めの位置に前進したとき歯及び刀片端縁に依つて決定された使用平面内で位置を決定されるものであるような保護具を包含する附記10の剪髪器。
- 12 主枠及び延長する歯を有する櫛状体、選択された切刈帯内に切刈用刀片を保持する為めの刀片位置固定装置、可塑性材料から作られて、その歯の間の間隔が毛髪に対しほぼ連続する開放通路を与える溝の形で主枠を通じてほぼ連続するような上記櫛状体を有する剪髪器。
- 13 主枠及び延長する歯を有する櫛状体、選択された切刈帯内に切刈用刀片を保持する為めの刀片位置固定装置、可塑性材料から作られてその歯の端部が櫛状体の主枠より上に持上げられてその内に刀片を保持する為めの装置を包容する凹状室を形成するような上記櫛状体を有する剪髪器。

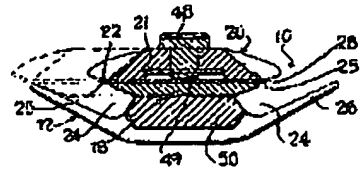
第1圖

(5)

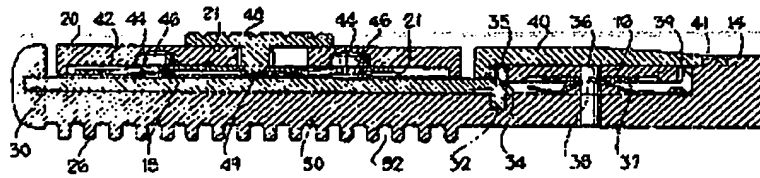
特許出願公告
昭34-1887



第2圖

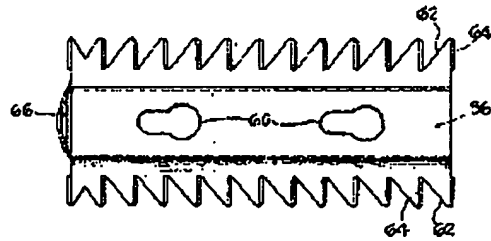


第3圖



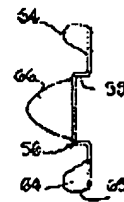
第4圖

第5圖

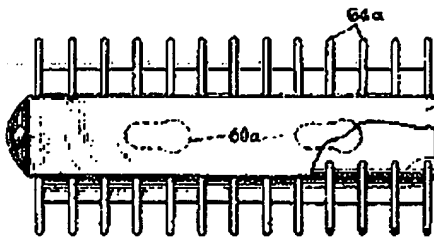


第6圖

第7圖

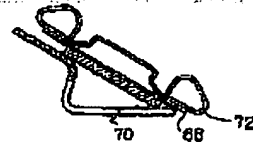
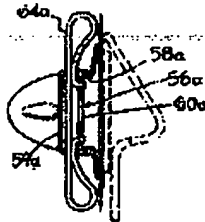


第10圖

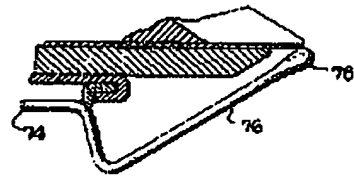
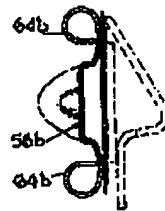
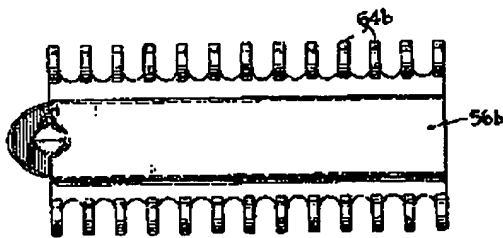


第8圖

第9圖



第11圖



This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox